1. **高等学校「家庭基礎」消費生活分野　（動画①～③使用）**

消費者教育動画DVDを活用した授業実践　～消費者が主役の社会へ～

【**ねらい】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【準備物**】

・消費者として日常生活の契約を理解する。　　　　　　　　　　冊子「社会への扉」（消費者庁作成教材）

・自立した消費者としての行動がとれる。

＊各指導内容の項目によって分割して活用することも可能です

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **過程** | **指導内容** | **学習活動** | **備考** |
| 導入(5分) | 本時のねらいの確認 | ・消費者と事業者の間にある情報の質・量、交渉力の格差により消費者被害が起こることを知る。 | 冊子「社会への扉」 |
| 展開１（15分） | 契約について契約書の役割 | ・契約とは何か、契約の成立時期を知る。・契約によって生じる権利と義務を理解する。・契約書面・署名・押印の意味を理解する。 | 動画①視聴（５分４０秒） |
| 展開２（15分） | マルチ商法マルチ商法の問題点についてクーリング・オフについて多重債務について | ・ネットワークビジネス、連鎖販売取引と呼ぶことを知る。・マルチ商法の問題点についてグループ討議をする・クーリング・オフについて理解する。・多重債務を理解する。・多重債務の救済方法を知る。任意整理、特定調停、個人再生手続き、自己破産 | 動画②視聴（６分２６秒）・班内で他者の意見を聞く。また考えを共有することができる。・マルチ商法のクーリング・オフ期間が20日間であることをおさえる。・多重債務に陥るしくみを理解させる。 |
| 展開３（10分）  | 近年相談が増加している「お試し購入」についてのトラブル | ・お試し購入のトラブルについて知る。・トラブルの未然防止について知る。・解約についての知識を持つ。 | 動画③視聴（５分４０秒）・ネットショッピング（通信販売）にはクーリング・オフがないことがないことをおさえる。 |
| まとめ（5分） | 自立した消費者としての行動 | ・消費者被害に遭わないための方法、被害に遭った時の対処方法をまとめる | ワークシート提出 |

1. **高等学校「家庭総合」住生活分野　（動画④使用）**

消費者の立場から見る住居問題　～住宅の物件情報を読もう～

**【ねらい】**

・平面図を理解し住みたい物件のイメージを持つことができる。

・賃貸住宅契約の際の留意点がわかる。

・退去時の手続きを知り、トラブルに遭わないために気をつけることについて学ぶ。

**【準備物】**

**・**冊子「社会への扉」（消費者庁作成教材）

・住宅情報誌（住宅のチラシ広告）

・賃貸住宅標準契約書

**・**国土交通省「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **過程** | **指導内容** | **学習活動** | **指導上の留意点** |
| 導入(5分) | 本時のねらいの確認 | ・高校卒業後、一人暮らしをすると仮定して住宅情報誌や賃貸情報のウェブサイトで物件を探し、検討する。 | 冊子「社会への扉」 |
| 展開１（25分） | 実際の住宅チラシを用いて賃貸住宅入居時の注意すべき点 | ・平面図の平面表示記号を理解する。・自分が住みたい物件の条件をあげる。　（間取り・家賃・収納・築年数・省エネルギー性など）・「賃貸住宅標準契約書」の特約事項を確認する。・契約時と毎月かかる費用について理解する。 | 住宅情報誌（住宅のチラシ広告） |
| 展開２（15分） | 退去時注意すべき点 | ・退去時の敷金についてのトラブルを知る。・原状回復義務について理解する。・退去時の修繕に係る費用負担（賃貸人・賃借人）について考える。 | 動画④視聴（５分１６秒）国土交通省「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」参照 |
| まとめ（5分） | 自立した消費者としての行動 | ・賃貸住宅の入居時、退去時のトラブルにはどのように対処すればよいかがわかる。 | ワークシート提出 |